

4. 本市のみどりの課題

平成13年（2001年）策定計画における基本施策の枠組みをもとに、本市における面的・点的なみどりの資源について、「保全」・「充実」・「創出」とこれらをつなげる「ネットワーク」の視点から課題を整理するとともに、市民・事業者・学校などが関わる「協働」の視点を含めた5つの区分に応じて「本市のみどりの課題」を整理しました。

また、これらの内容を「本市のみどりの課題図」として次頁に示します。

表 課題一覧

みどりに関する取組	課題の項目
1. みどりの保全	①淀川（淀川河川公園）
	②河川・水路
	③農空間のみどり（樹林地、農地、ため池）
	④大規模公園等（総合公園、広域公園、特殊公園、治水緑地）
	⑤社寺林・保存樹
	⑥旧集落地のみどり
	⑦歴史街道など
	⑧ゆとりある住宅地のみどり
2. みどりの充実	①大規模公園等（総合公園、広域公園、特殊公園、治水緑地）
	②都市公園等（住区基幹公園、その他都市公園、ちびっこ老人憩いの広場）
	③学校グラウンド、公共施設等
	④緑道（友呂岐緑地など）
	⑤幹線道路とその沿道地のみどり
	⑥河川・水路
	⑦住宅地（全般）のみどり
	⑧商業・業務地のみどり
	⑨住工共存地のみどり
3. みどりの創出	①都市公園等（住区基幹公園、その他都市公園、ちびっこ老人憩いの広場）
	②密集住宅地区のみどり
	③まちづくり計画におけるみどり
4. みどりのネットワーク	①水辺空間や歴史街道を活かしたネットワークの充実
	②主要な幹線道路によるネットワークの充実
	③桜街道による新たなネットワークの創出
5. 協働のみどり	①市民との協働によるみどりの取組
	②事業者との協働によるみどりの取組
	③学校との協働によるみどりの取組
	④多様な主体との連携によるみどりの取組
	⑤みどりの普及・啓発活動



みどりの保全

- ① 淀川(淀川河川公園)
- ② 河川・水路
- ③ 農空間のみどり(樹林地、農地、ため池)
- ④ 大規模公園等(総合公園、広域公園、特殊公園、治水緑地)
- ⑤ 社寺林・保存樹
- ⑥ 旧集落地
- ⑦ 歴史街道など
- ⑧ ゆとりある住宅地のみどり

みどりの充実

- ① 大規模公園等(総合公園、広域公園、特殊公園、治水緑地)
- ② 都市公園等(住区基幹公園、その他都市公園、ちびっこ老人憩いの広場)
- ③ 学校グラウンド、公共施設等
- ④ 緑道(友呂岐緑地など)
- ⑤ 幹線道路とその沿道地のみどり
- ⑥ 河川・水路
- ⑦ 住宅地(全般)のみどり
- ⑧ 商業・業務地のみどり
- ⑨ 住工共存地のみどり

みどりの創出

- ① 都市公園等(住区基幹公園、その他都市公園、ちびっこ老人憩いの広場)
- ② 密集住宅地区のみどり
- ③ まちづくり計画におけるみどり

みどりのネットワーク

- ① 水辺空間や歴史街道を活かしたネットワークの充実
- ② 主要な幹線道路によるネットワークの充実
- ③ 桜街道による新たなネットワークの創出

協働のみどり

- ① 市民との協働によるみどりの取組
- ② 事業者との協働によるみどりの取組
- ③ 学校との協働によるみどりの取組
- ④ 多様な主体との連携によるみどりの取組
- ⑤ みどりの普及・啓発活動

図 本市のみどりの課題図

4-1. みどりの保全に関する課題

①淀川(淀川河川公園)

- 広大で自然豊かな水辺環境を有する淀川は、ワンドの減少やヨシ原の消失など、生物の生息・生育環境は大きく劣化してきており、多くの固有種の絶滅が危惧されています。
- 国において、ワンドの環境改善や水辺環境など、淀川の自然再生の取組が展開されています。
- 市民や学校等と連携した親水空間整備等の協働の取組が展開されています。



淀川河川公園

【課題】自然・歴史文化が色づく空間としての維持保全

本市を代表する自然・レクリエーション空間であるとともに、大阪と京都を結ぶ京街道や、過去の大洪水を物語る茨田堤碑（まんだのつつみひ）、または淀川から農業用水などを引き込んでいた茨田樋之跡石碑（まんだひのあとせきひ）など、自然・歴史文化が色づく貴重な空間として引き続き保全が求められます。

【課題】市民等の利活用の場と生物の生息・生育環境の両立

健康づくりや文化活動、自然とのふれあいなどの余暇活動の場としての役割のほか、特徴のある水辺景観の保全や川にまつわる歴史文化資源を活かす、都市の防災性を向上させる、川と人をつなげるなど「都市の水辺」として市民等の利活用の場となることと、生物多様性の保全などの視点から絶滅危惧種をはじめとする貴重な生物の生息・生育環境の両立が求められます。

【課題】市民や周辺市等との連携の取組への展開

親水空間整備等の協働の取組や、淀川河川公園中流左岸地域協議会などにおける周辺市等との連携による取組の展開が必要です。

②河川・水路

- 一級河川淀川や寝屋川などとともに西部地域には農業用水機能や雨水排水機能を有する水路が張り巡らされています。
- 寝屋川や一部水路には、「大阪府レッドリスト 2014」または「環境省レッドリスト 2018」で準絶滅危惧種に指定されているコウガイモやミズアオイの自生が確認されています。



幹線水路

【課題】貴重な生物の生息・生育環境としての水辺空間の保全

絶滅危惧種をはじめ、貴重な生物の生息・生育環境として水辺環境の維持保全が求められます。

【課題】寝屋川市らしい特徴的な都市景観の保全

都市景観形成に貢献するみどりの資源としての保全が求められます。

③農空間のみどり(樹林地、農地、ため池)

○東部地域を中心に樹林が存在しており、樹林地など歴史文化と一体となった貴重なみどりが存在します。

○市街化調整区域内農地は、大阪府による農空間保全地域に指定されており、第二京阪道路沿道では、地権者等による農地保全に向けた検討が進められていますが、担い手の不足などによる耕作放棄地の増加に伴って生物の生息・生育環境や景観面での質の低下が懸念されます。



市街化調整区域内農地（梅が丘）

【課題】生物多様性が確保された貴重な樹林地、歴史文化と一体的な樹林地景観の向上

人手や担い手の不足などにより樹林地の管理が適切に行われず、多様な動植物の生息・生育環境となる自然環境の悪化が懸念されます。また、あわせて歴史資源と一体となった樹林地景観の質の低下が懸念されます。

【課題】民間開発などにより減少する貴重な樹林地の保全

民間開発の進行等に伴い、山林の切り崩しや樹木の伐採が行われるなど貴重な樹林地が年々減少していることから、これらの維持保全が求められます。

【課題】歴史文化と一体となったみどりの保全

歴史文化と一体となった都市景観形成にも貢献するみどりは、引き続き保全が求められます。

【課題】生産緑地地区や市街化調整区域内農地の保全

市街化調整区域内農地は、資材置場への転用など無秩序な開発を防止するとともに、計画的な保全が求められます。

また、市街化区域内農地では今後の開発進行による減少や、平成4年(1992年)の当初指定から30年を経過する生産緑地の買取申出の増加に伴う減少が想定されることから、生産緑地法の改正に伴う特定生産緑地の指定や面積要件の緩和による小規模農地の保全、追加指定(再指定を含む。)に加えて、「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」などを踏まえた貸借による有効活用が必要です。

【課題】農地が有する多面的な機能の質の確保

営農の場としてのみならず、農地の多面的な機能を活かした自然環境の保全、防災、自然景観の形成等に貢献する機能を確保するため、遊休農地の解消や担い手の確保などが求められます。

【課題】ため池の減少及び多面的な機能の質の確保

主に農業用水の確保のほか、生物の生息・生育環境、都市の中の水辺景観、田園景観の構成要素として多様な役割を果たしており、農地の減少に伴うため池の減少や多面的な機能の低下が懸念されるため、耐震性調査の実施などのハード対策に加えて、ため池管理者との連携による日常管理や点検などの適正な維持管理が必要です。

④大規模公園等(総合公園、広域公園、特殊公園、治水緑地)

○広域的なレクリエーション拠点として多くの市民等に利用されるとともに、印象的なみどりとして認識されており、寝屋川公園では大阪府指定の文化財(寝屋古墳)が現存しています。



寝屋川公園

【課題】 広大な自然環境をはじめとする多様な機能を有するみどりとして保全

本市の魅力を高める「都市の森」として、生物多様性、ヒートアイランド現象の緩和、歴史文化資源の保全・活用、自然とのふれあい、健康づくり等のレクリエーション、景観の保全、防災など多様な機能を有するみどりとしての保全が必要です。

⑤社寺林・保存樹

○神田天満宮のクスノキ、春日神社のシイの社叢(しゃそう)は大阪府指定の文化財(天然記念物)として指定されています。

○社寺林の中には保存樹に指定された樹木が多数存在します。



春日神社のシイの社叢

【課題】 社寺林・保存樹の保全

社寺林や保存樹などは、開発などにより喪失すると復元が困難となります。他都市では、所有者の高齢化などによる維持管理の困難化に伴い、保存樹指定を解除し伐採するケースも見受けられるため、適正な維持管理を促進する取組の継続による社寺林・保存樹の保全が求められます。

⑥旧集落地のみどり

○歴史資源や社寺林、保存樹などのみどりと一体となって古くからのまちなみが残り、うるおいのある環境と景観が保持されています。

○河川・水路やため池、農地と一体となって本市の貴重な田園景観や自然景観を形成しています。



寝屋のまちなみ

【課題】 歴史文化漂うまちなみへの展開

旧集落地には、歴史文化と調和した社寺林や屋敷林などが残されていることから、地域のシンボルとなる貴重なみどりを有する歴史文化漂うまちなみとしての保全が求められます。

⑦歴史街道など

○京街道や東高野街道をはじめ、市域にはみどりの資源を結ぶ歴史街道や文化財、寝屋などに残る歴史あるまちなみが存在しています。



寝屋古墳（大阪府指定文化財）

【課題】歴史文化漂うまちの雰囲気づくり

市域には国、府、市指定の文化財が点在しており、これらと一体のみどりが存在することから、歴史文化漂うまちの雰囲気づくりに向けた保全が求められます。

⑧ゆとりある住宅地のみどり

○東部地域などにおいて、みどり豊かで閑静な住宅地が広く形成されています。

○地区計画制度を活用した良好な住環境の保全が図られています。



みどり豊かで閑静な住宅地

【課題】ゆとりある住宅地におけるみどりの保全

住宅敷地内の樹木が良好に生長し、みどり豊かなまちなみを形成していますが、所有者の高齢化に伴う維持管理の困難化などにより良好なみどりの喪失や質の低下が懸念されます。

4-2. みどりの充実に関する課題

①大規模公園等(総合公園、広域公園、特殊公園、治水緑地)

○打上川治水緑地では、毎年寝屋川まつりや農業まつりなどの各種イベントが開催されるとともに、平成 28 年度(2016 年度)より「サクラ☆プロジェクト」による遊歩道沿いの桜のライトアップが開催されるなど、まちの魅力向上を図るシティプロモーションに取り組んでいます。

○寝屋川公園の事業未着手区域は、大阪府において都市計画公園・緑地(府営公園)の見直し対象区域として検討が進められています。



打上川治水緑地
(寝屋川まつりの様子)

【課題】本市の魅力を高めるみどりとして市民の多様なニーズへ対応

本市の魅力を高める「都市の森」として、自然とのふれあい、健康づくり、水辺の景観の保全、川にまつわる歴史文化資源の活用促進、地域コミュニティの形成、避難地等としての機能充実とアクセスの確保や安全・安心な利用環境の確保など、みどりの視点から市民等の多様なニーズへの対応が求められます。

【課題】まちづくりの観点などから寝屋川公園のあり方の協議・検討

みどりの骨格に位置付けられる広域公園としてのあり方について、寝屋川公園駅周辺地域におけるまちづくりや、広域避難場所、後方支援活動拠点等の防災上の視点などから今後の整備の方向性や施設のリニューアルなどの検討について、大阪府との協議が必要です。

②都市公園等(住区基幹公園、その他都市公園、ちびっこ老人憩いの広場)

○日常的なレクリエーションや生物の生息・生育環境の場として市域に配置されています。

○学校等で実施される環境学習や、自治会等でのコミュニティ形成を目的とした活動など、多様な公園の利用方法が見受けられます。

○都市公園等の多くは平成以前に整備されたものであり、遊具等の老朽化が見られます。



大和公園

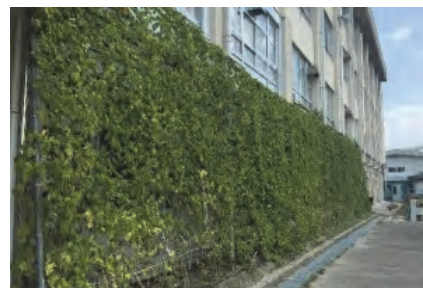
【課題】都市公園等のマネジメントの推進

本市の魅力を高める「都市の森」として、自然とのふれあい、健康づくり、地域コミュニティの形成、避難地としての機能充実とアクセスの確保や安全・安心な利用環境の確保などを進めるため、市民等との協働による計画づくりや民間活力の活用による公園整備とともに、市民等が主体となった公園の管理運営を検討するなど、地域ニーズに応じた公園のマネジメントが求められます。

また、公園施設の老朽化の進行に伴う維持管理費の増加が予想されるため、都市公園等の適正配置や機能集約による更なる機能充実を図るとともに、公園施設の長寿命化により機能保全とライフサイクルコストの縮減に努めることが必要です。

③学校グラウンド、公共施設等

- 災害時の避難場所やイベントの実施、市街地内の貴重なオープンスペース、または施設内の植樹などによりみどりの機能が確保されています。
- 市庁舎や公民館、体育館、図書館、市民交流センター、供給処理施設などの公共施設等が存在します。



公共施設での植栽（グリーンカーテン）

【課題】学校グラウンドなどにおけるみどりの取組の推進

学校グラウンドなどのオープンスペースを有効に活用するため、学校と地域が連携したみどりの取組機会の創出や、継続的な維持管理が可能となるよう、みどりの保全・育成に関する知識や資機材の提供などが求められます。

【課題】植栽事業などによるみどりづくりの推進

公共施設等における植栽事業や大阪府緑化樹配布事業などによるみどりの取組の更なる推進が求められます。

④緑道（友呂岐緑地など）

- 友呂岐緑地の桜保全事業や、「サクラ☆プロジェクト」による桜の保全や植樹が行われ、サクラをテーマとしたまちづくりを推進しています。



友呂岐緑地

【課題】人々の交流を促すみどりとしての充実

桜並木などを有する緑道は、水とみどりによるまちなかの自然空間を形成するとともに、うるおいある空間を通じて市民等にやすらぎと潤いを与える貴重な資源であることから、今後も人々の交流を促すみどりとしての充実が求められます。

⑤ 幹線道路とその沿道地のみどり

- みどりに関するアンケートでは、街路樹は守るべき・増やすべきみどりとして認識されています。
- 主要地方道京都守口線や第二京阪道路では、「みどりの風の軸の形成」に向けた取組が行われています。



街路樹（寝屋川駅前線）

【課題】街路樹などによるみどりの保全と創出

街路樹は、維持管理上の理由から強剪定する場合があります。美しい樹形の喪失や樹勢の衰えなどが見られます。これらを適正に保全するとともに、新たに整備される幹線道路沿道の植樹など、沿道土地利用や歩道幅員に配慮しつつ、できる限り緑陰空間の形成に努める必要があります。

【課題】幹線道路沿道におけるオープンスペースの充実

「みどりの風促進区域」や「景観重点地区」に位置づけられる主要地方道京都守口線や第二京阪道路などの幹線道路沿道において、公共施設・民有地を問わずオープンスペースの充実が求められます。

⑥ 河川・水路

- 一級河川寝屋川では、寝屋川再生ワークショップ（ねや川水辺クラブ）との協働により、寝屋川市駅西側の親水空間や幸町公園、川勝水辺ひろばを整備するなど、市街地内の貴重な水辺空間が形成されています。



川勝水辺ひろばオープニングの様子

【課題】水辺とふれあう空間の充実

寝屋川再生ワークショップとの協働で平成22年（2010年）3月に策定した「寝屋川市水辺整備基本構想」の実現に向けた取組を継続し、寝屋川、古川、友呂岐水路、幹線水路、二十箇水路、打上川など水辺とふれあう空間の確保とネットワークの更なる充実が求められます。

【課題】水路の環境・景観面からの改善

西部地域を中心に張り巡らされている水路について、内水対策における浚渫や改修を進めるとともに、周辺の土地利用状況などに応じて自然護岸を創出するなど、水路沿いの緑化や修景、水質改善などを進めることにより市民等に親しまれる水辺空間の創出が求められます。

⑦住宅地(全般)のみどり

- 既成市街地では住宅敷地内の空間やオープンスペースが限られるため、駐車場や生垣緑化を促進するなど、まちなかのみどりの環境形成に努めています。
- 市内に存在する空き家対策の検討を進めています。

【課題】住環境の改善と合わせたみどりの環境形成

ゆとりある都市居住空間の形成を目指す中で、建物の新築や建て替えなどに伴う民有地緑化を推進するなど、まちなかのみどりの充実が必要です。

【課題】環境対策と生活環境の改善の両立

環境対策として地球温暖化の緩和に取り組むとともに、みどりによる生活環境の改善を図り、市民にとって暮らしやすい環境形成が必要です。

【課題】空き地を活用した新たなみどりの創出

空き家除却の促進により安全・安心な住環境の形成を図るとともに、空き地の有効活用による新たなみどりの創出方法の検討が必要です。

⑧商業・業務地のみどり

- 鉄道駅周辺地域は、本市の都市核として地域特性に応じたまちのにぎわいと活力ある空間づくりに取り組んでいます。



寝屋川市駅西側駅前広場のバラ

【課題】人が集まる空間としてみどりを充実

鉄道駅周辺地域は市内外から人々が集まる空間であるため、市民等の目につきやすい建物や空間のみどりなど、まちのシンボルとして都市の顔となる緑化空間の充実が必要です。

【課題】市の玄関口にふさわしい都市景観の形成

鉄道駅周辺地域では、「寝屋川市景観計画」との連携を図りつつ、本市の玄関口にふさわしい都市景観と一体となった美しいまちなみの形成が必要です。

⑨住工共存地のみどり

- 都市活力を支える工場等の操業環境と住環境の調和を目指した市街地形成に取り組んでいます。
- 近年の工場撤退などに伴い、住宅地への建て替えが進んでいます。

【課題】工場敷地等のみどりの充実・活用

民間事業者の敷地におけるまとまりのあるみどりは、地域における貴重なみどりとしての充実を図るとともに、地域に親しまれるみどりとしての活用が求められます。

【課題】住工共存地域における操業環境と居住環境の調和

工場・事業所と住宅地などが近接していることから、周辺の景観や環境に配慮した土地利用を誘導する中で、工場敷地における緑化や住宅地への転換時におけるみどりの創出など、操業環境と居住環境が調和したまちなみの形成が必要です。

4-3. みどりの創出に関する課題

①都市公園等(住区基幹公園、その他都市公園、ちびっこ老人憩いの広場)

○住区基幹公園等は市域に充足するように都市計画決定されていますが、事業未着手の公園が存在します。

【課題】長期未着手の都市計画公園の見直し

社会情勢が変化中、地域の多様なニーズを踏まえ、既存のみどり資源の充実などによる代替手法の活用により地域のみどりを確保し、その機能を維持した上で、長期未着手の都市計画公園の必要性の検討が必要です。

②密集住宅地区のみどり

○京阪本線の3駅(寝屋川市駅、香里園駅、萱島駅)周辺に密集住宅地区が形成されており、狭隘な生活道路や木造住宅の建て詰まりなどの防災上の課題に対応するため、主要生活道路の拡幅や共同協調建て替えの促進、空き家の除却などを進めています。

【課題】オープンスペースの確保

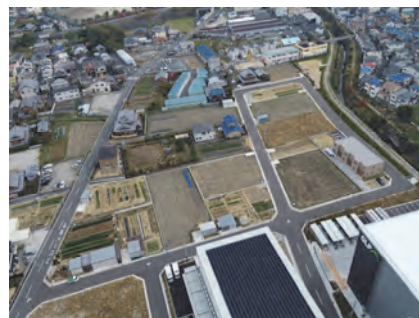
密集住宅地区では十分なオープンスペースが存在しないことや、延焼遮断施設が希薄なことから、主要生活道路の拡幅や建物の不燃化による災害に強いまちづくりを進める中で、公園、広場などのオープンスペースを確保するなど不燃領域率を高めることが必要です。

【課題】空き地を活用した新たなみどりの創出

空き家除却を促進することにより、安全・安心な住環境の形成を図るとともに、空き地の有効活用による新たなみどりの創出方法の検討が必要です。

③まちづくり計画におけるみどり

○京阪本線連続立体交差事業の推進や対馬江大利線の整備、寝屋川公園駅周辺のまちづくりが進められています。



小路土地区画整理事業

【課題】計画的なまちづくり事業や景観計画等と連携したみどりの創出

鉄道駅周辺における市街地開発事業や駅につながる街路整備などとあわせて、市街地における新たなオープンスペースの創出やシンボルとなる景観形成を図るなど、まちづくり関連事業との連携によるみどりの取組が必要です。

4-4. みどりのネットワークに関する課題

①水辺空間や歴史街道を活かしたネットワークの充実

○市街地における水辺空間はうるおいと安らぎを与える空間として存在し、生物の生息・生育環境として連続性があることから、みどりをつなぐネットワークを形成する貴重な資源です。

○京街道や東高野街道などのみどりの資源を結ぶ歴史街道や文化財、寝屋などに残る歴史あるまちなみが存在しています。



寝屋川のツツジ

【課題】河川等のつながりを踏まえた水辺環境のネットワークの充実

河川等の水辺空間は、生物の生息・生育環境や都市景観の形成、または水辺とのふれあいなど多様な機能を有することから、周辺市を含めた連続性を十分に踏まえつつ、市民等に親しまれる水辺空間としての保全とともに更なるネットワークの充実が求められます。

【課題】歴史文化とともに共存するみどりのネットワークの充実

歴史文化資源や歴史街道を活かしたウォーキングルートなどを活用したネットワークの充実が求められます。

②主要な幹線道路によるネットワークの充実

○広域連携軸である第二京阪道路、国道1号(寝屋川バイパス)、国道163号、国道170号、主要地方道茨木寝屋川線や、地域連携軸である主要地方道京都守口線、主要地方道枚方交野寝屋川線、主要地方道枚方富田林泉佐野線、主要地方道八尾茨木線などの幹線道路が通過しています。

【課題】主要な幹線道路によるみどりのネットワークの充実

主要な幹線道路は、大規模な公園緑地をはじめとするみどりをつなぐネットワーク軸となり、みどりの連続性や風が抜ける空間としての機能を発揮するとともに、避難地へのアクセスや空間形成などの道路機能を有することから、これらの機能維持や新たな道路整備により更なるネットワークの充実が必要です。

③桜街道による新たなネットワークの創出

○鉄道駅を拠点として市域の桜の名所へのルートを桜街道としてつなげる「サクラ☆プロジェクト」を推進しています。



桜街道(三井団地)

【課題】「サクラ☆プロジェクト」の推進によるみどりのネットワークの形成

シティプロモーションの一環として取り組む「サクラ☆プロジェクト」による鉄道駅を拠点とした桜街道の整備など、まちの魅力向上に貢献する新たなみどりのネットワーク形成が必要です。

4-5. 協働のみどりに関する課題

①市民との協働によるみどりの取組

- 人口減少や市民ニーズの多様化などで地域を取り巻く環境が変化中、みんなで支えあって助け合えるつながりの深いまちをつくるために、平成25年（2013年）3月に「寝屋川市地域協働推進プラン」を策定し地域協働の取組を進めています。
- 「公園・緑地等植栽サポーター制度」や「花いっぱい植栽事業」を実施するなど、市民協働による公共施設やまちかどの緑化を展開しています。



「公園・緑地等植栽サポーター制度」による植栽（黒原橋町）

【課題】市民との協働によるみどりづくりの充実

平成13年（2001年）策定計画に基づいて、これまでに実施した協働によるみどりの取組事例を活かして、市域全体へと発展させるなど一層の充実が求められます。

【課題】みどりに関わるきっかけづくりや仕組みの構築

自宅での植栽をはじめ、地域コミュニティの醸成などに貢献する道路、公園、河川などの公共施設における清掃活動のほか、様々な情報提供をはじめ活動場所や資材等の提供、または技術的支援を行うことにより、市民がみどりと関わりやすい環境づくりと仕組みの構築が求められます。

②事業者との協働によるみどりの取組

- みどりに関するアンケートでは、みどりの取組のきっかけとして「地域住民や行政との連携に関する支援」や「みどりの取組事例などの情報提供」が求められています。

【課題】みどりを通じた地域への社会貢献の仕組みの検討

民間事業者の敷地におけるまとまりのあるみどりは、地域における貴重なみどりとして充実させるとともに、地域に親しまれるみどりとしての活用など、企業CSRなどの社会貢献活動として操業地域や市内各所におけるみどりの取組に関わる仕組みの構築が求められます。

【課題】住工共存のまちなみ形成とあわせた地域コミュニティの形成

民間事業者の社会貢献活動などによる地域におけるみどりの取組の促進と、民間事業者及び住宅の敷地内における緑化を図るなど、地域一体となったみどりの取組を進めることにより、地域コミュニティの更なる醸成が求められます。

③学校との協働によるみどりの取組

○学校法人等との包括連携協定を活用した取組の推進により、地域産業の活性化や地域課題の解決などを図るとともに、連携先の拡充検討を進めています。

【課題】学校と連携した地域の拠点となるみどりの創出

学校との連携を図る中で、新たなみどりの担い手の育成や学校敷地等における取組を促進するなど、地域の拠点としてのみどりの創出が求められます。

④多様な主体との連携によるみどりの取組

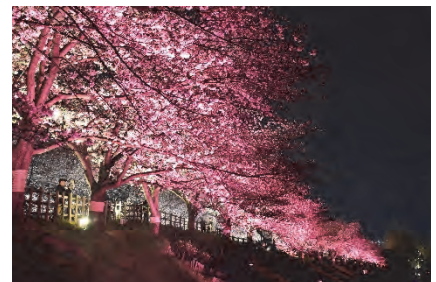
○みどりに関するアンケートでは、取組のきっかけとして「みどりに関する活動を広く周知するためのPR」や「地域住民や行政との連携に関する支援」、「みどりに関する取組事例などの情報提供」が求められています。

【課題】多様な主体との連携を図る仕組みの検討

市民・事業者・学校との協働・共助によるみどりの取組を推進するためには、情報提供や活動のPRはもとより、各者が連携し一体となって取り組む必要があることから、みどり法人（民間主体）による自発的な緑地の保全・管理や公園協議会による管理運営などに加えて、多様な主体との連携が可能となる仕組みの構築が求められます。

⑤みどりの普及・啓発活動

○友呂岐緑地の桜保全事業や「サクラ☆プロジェクト」による桜の保全や植樹を実施するなど、サクラをテーマとしたまちづくりに資する水とみどりのネットワークの形成を推進しています。



桜のライトアップ

【課題】桜などのみどりを活用したシティプロモーションなど、市の魅力や都市格の向上

市域全体で取り組む桜の保全・植樹の継続実施により、市内外からの来訪者にとって印象的なみどりとしての更なる充実が求められます。

【課題】環境改善やみどりの保全育成に関する市民意識の醸成

既存のイベントなどを通じて、市民等がみどりに関わる機会を設けるなど環境やみどりに対する意識の醸成を図るため、みどりの取組の更なる拡大が求められます。